

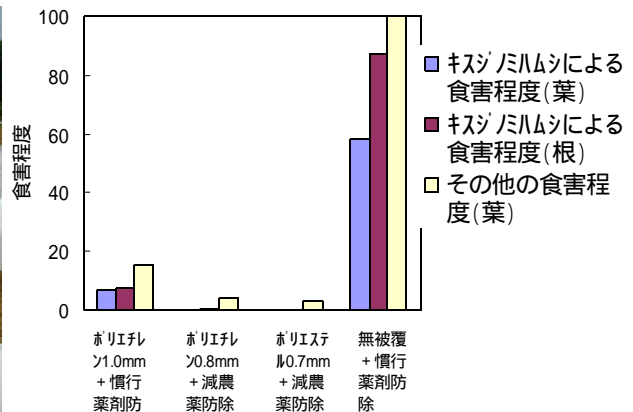
防虫ネットと太陽熱土壤消毒による カブ・チンゲンサイの減農薬栽培

虫害が大きな問題となるカブ、チンゲンサイの栽培では、0.7～0.8mmの目の細かい防虫ネットでトンネル被覆すると食葉性害虫の防除に、また、夏場に太陽熱土壤消毒をするとキスジノミハムシの防除と雑草防除に有効で、両者を組み合わせると農薬使用回数を減らせます。

害虫の被害を大幅に減らす上で、トンネル被覆資材の裾を土に埋めたり、被覆資材が植物に触れないようにすること、雑草や作物の残さをほ場に残さないようにすることが肝要です。



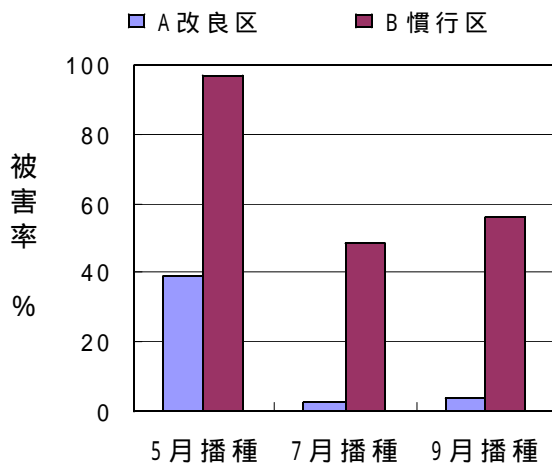
防虫ネットによるトンネル被覆



目の細かい防虫ネットで害虫の被害が防げます



太陽熱土壤消毒によって雑草の発生が著しく減ります(左：無処理；右：太陽熱消毒)



防虫ネットの使用法で
害虫防除効果が高まります。

改良区：ネットと作物が接触しないようにし、目の細かい防虫ネットの裾を土に埋め、トンネル被覆を行う。

慣行区：通常の使用法
(1997年；チンゲンサイ)